

# 日野総合事務所だより



平成16年度「日野郡そばの花のある風景フォトコンテスト」金賞受賞作品  
米子市 石井盛夫氏 「そば咲く上菅」

## Contents

もくじ	地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 .....	2
	県民局 .....	3~5, 8
	郡民会議 .....	5~7
	福祉保健局 .....	9~10
	農林局 .....	11~14
	県土整備局 .....	15~17
	日野高校 .....	18~19
	日野郡地域教育担当 .....	20
	園芸試験場日南試験地 .....	21
	西部家畜保健衛生所 .....	21
	お知らせ .....	22~24

**日野郡そばの情景  
フォトコンテスト  
作品募集中!!**

(応募用紙は山陰フジカラ  
一取扱店、日野総合事務所  
ホームページにあります)

# 地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 (第14回)



## 日野郡イメージソングがCDに!?

日野郡の観光PRと地域の活性化を目指して16年度に日野郡広域観光推進協議会が「日野郡イメージソング」を作成しました。日野郡の「人」でつくることを目標のひとつとして、歌詞を日野郡内の中・高校生から募集し、作曲を日野高校の音楽専攻に依頼しました。そして今年度、当初から計画していたイメージソング「よろしく日野」のCD化を行うことになり、8月28日(日)に、日南町さつきホールで江府町アイリス合唱団の合唱を収録しました。

現在、CD製作中です。ジャケットの表紙も日野町の音田豊美さんに「日野郡のあたたかくゆつたりしたイメージ」をデザインしていただきました。CD完成予定は11月下旬で、日野郡内の学校や公民館に配布しますので、ぜひお聴きください。



いつもより緊張気味(?)なアイリス合唱団の録音風景



よろしく日野のジャケット表紙です!  
(絵: 日野町在住 音田豊美さん)

### ♪CDプレゼント案内♪

今回製作した「よろしく日野」のCDを抽選で5名の方にプレゼントします。ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1 日野総合事務所県民局内「CDプレゼント」係宛てにお送りください。Eメールも受け付けます。  
(h-kenminkyoku@pref.tottori.jp)

**締め切り 平成17年10月7日(金)必着**

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。CDは11月下旬に発送予定です。  
※プレゼント応募ハガキの内容及び個人情報はプレゼント発送目的以外には使用しません。  
※「よろしく日野」の楽譜を希望される方は、別途問合せ先にご連絡ください。



作曲者の谷口さん  
(作成当時日野高3年)



作詞者の谷内さん  
(作成当時日野中1年)

三年間通った日野の風景を思いうかべながら作りました。沢山の方に親しんでいただけたらとても嬉しく思います。  
(作曲家 谷口大樹<sup>ひろき</sup>)

この歌を聴いて、日野の自然を改めて再発見していただければと思います。  
(作詞者 谷内大樹<sup>だいじゅ</sup>)

### 作詞作曲家コメント

問い合わせ先 県民局県民課 関・宮本 電話0859-72-2083



日本で唯一ケールスプラウト

# 新シリーズ

## 日野郡の 元気な会社 (第1回)



土を使わず、水耕栽培でもない  
近未来の製造方法

平成12年に薬局として開業したおしどり調剤薬局(株)の宇田勲社長は、現代人の健康を考え、自然食品の摂取で健康を維持してもらいたいとの思いから、スプラウトの栽培を思い立ちました。スプラウトとは芽だし野菜のことで、新芽にはミネラル・ビタミンが豊富に含まれているほか、酸化作用のある酵素を含み、食物

### ★薬局なのに野菜生産？

私たちが日ごろよく見かける製品や、余り知られていない全国で活躍する技術の中には日野郡内の会社で作られているものがたくさんあります。こうした会社を今回よりシリーズで紹介いたします。第1回目は日野町の「おしどり調剤薬局有限公司」です。

繊維も多く、ミネラルの豊富な根も切り捨てずにそのまま食べられます。現在、ブロッコリー、ラディシユ、ケール(青汁の原料)、レッドキャベツの4種類を生産・販売しています。

### ★注文増で増設も検討中

平成15年3月、新たな商品(スプラウト)の生産・販売を目的として、日野郡で第一号となる※中小企業経営革新支援法の承認をうけ、融資制度等を活用して米国から発芽させる栽培機を2機輸入し、日野町下菅の縫製工場跡を改造した工場平成15年10月から生産を始めました。

生産当時は消費者のスプラウトに対する認識がなく、出荷量が伸び悩んでいましたが、テレビ番組等で紹介されて以来、目標数値を上回るようになり、今では、関西・山陽方面からも取引・問い合わせが来ています。

### ※中小企業経営革新支援法とは

事業化や経営の向上を目指し、新たな取組として新事業調査、新商品・新技術の研究調査や試作を行う場合に支援する制度で、経営革新計画の承認が受けられると、補助金・奨励金が受けられる他、必要な設備資金等の融資が受けられます。

(平成17年度より中小企業新事業活動促進法となりました。)

#### 問い合わせ先

県民局県民課  
電話 0859-72-2085  
担当 永見 将

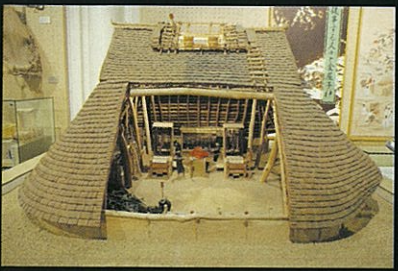
### 企業データ

代表者 宇田 勲  
所在地 日野町野田319-5  
電話 0859-74-6120  
FAX 0859-74-6121  
e-mail osidori@sunny.ocn.ne.jp

特にケールは日本で唯一ここだけが商品化しており、全国からインターネットでの注文が多数来ます。日野郡内では日野町内のスーパーで販売しているほか、おしどり調剤薬局(株)でも購入できます。

# 日野郡の製鉄遺跡

# 都合谷たたら跡



高殿模型 和鋼博物館(安来市)蔵  
本床にある高殿で鉄が精錬された



いまでも祀られる金屋子神



金屋子神社の台座と大木



ふいごを動かす水車をまわす水を貯えた溜池



鉄で栄えた往時をしのばせる石垣



(中世末から近世)  
西日本の製鉄遺跡の分布

草刈をしながら林道を行き都合谷川を渡るとタタラ跡のある杉林に出る。明治期の11年間、根雨の近藤家によってタタラが経営された。タタラ場には、高殿という製鉄工房があり、「村下(むらげ)」と呼ばれる総責任者のもと、靴を踏む「番子(ばんこ)」、鍛冶大工、砂鉄を採取する鉄穴(かんな)師、炭を焼く「山子(やまこ)」などの技術者集団およそ百数十人が集落をつくり生活した。

タタラ場にはタタラの神、通常は金屋子神が祭られた。この神は一般的には女神であり、犬、鳶、麻、そして人間の女を忌むといわれ、仕事場へは女性を入れなかったという。この集落は山内(さんない)といい周辺の農村とは違う独自の社会を作っていた。米、酒、酢などの食料品は周辺の農村から購入しており、地元の産物の一大消費地でもあった。また農閑期の冬場になると上菅などの集落から鉄穴流しに稼ぎに出ていた人もいた。・・・「奥日野三千軒はタタラで食べていた」という言葉が残っている。

この山内集落は木の伐採により炭焼きにする木が供給できなくなると次なるたたら場へと移っていった。都合谷たたらのは明治期には鳥取県の和鉄生産額が全国の4割を占めるに至った。ここの神社跡ではいまも初冬の荒神様の季節になると畑集落の人々がお祀りをしているという。



問い合わせ先 県民局県民課 別所、土井 電話0859-72-2083



駐車場地下に浄化槽設置

この秋 **鍵掛峠** に水洗トイレが完成します



昨年からの使用中止していた鍵掛峠のトイレ改修工事が終わり、この秋10月1日から使用再開の予定です。

このトイレは水洗化のため駐車場の地下に浄化槽を設置しています。排水を高度に浄化して循環再利用する特殊な浄化槽で、あふれた水だけを地下に浸透させます。

通常の合併浄化槽だと放流水のBOD濃度は20mg/l程度ですが、これは5mg/lまで浄化します。

また手洗水は屋根の雨水を貯めて浄水器でろ過したもので飲用できません。量にも限りがありますので節水をお願いします。



水は循環再利用



車椅子での使用も可能

問い合わせ先 県民局県民課 土井 一寛 電話0859-72-2085

◆「第4回鳥取県日野郡民行政参画推進会議」を開催しました。

日時 平成17年9月10日(土)  
午前10時～午後3時30分

場所 日野総合事務所大会議室

今回の会議では、個々の委員の関心のあ  
るテーマについて集中して議論できるよう  
に、個別のブース(総合事務所各局、教育  
関係、黒坂警察署)でのフロアーミーティ  
ングで県の説明を受けられ、それを基に全  
体会議で県の考え方について委員同士の意  
見交換が行われました。



フロアーミーティング様子写真

◆次回(第5回会議)の開催予定

日時 平成17年12月3日 午前10時から

場所 日野総合事務所大会議室

※一般の方の傍聴も可能です

◆第3回会議の意見に対する  
県の処理方針等について

平成17年6月11日(土)に開催した「第3回鳥取県日野郡民行政参画推進会議」での意見に対する県の処理方針等について、次ページ以降に掲載しております。

(回数は現在の第2期委員になってからの通算回数としています。)

# 第3回日野郡民行政参画推進会議での意見について

(平成17年6月11日開催)

## 1 「鳥取県男女共同参画センターよりん彩」貸し出し図書の返却について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>倉吉の男女共同参画センターの図書資料は日南町の図書館から全く借り出しができない。また倉吉で借りた場合でも、米子の総合事務所できないと返却できない。</p> <p>日野郡から米子まで持って出るのは大変であり、日野総合事務所でも返却できるようにしていただけたら良いと思う。</p>	<p>現在、市町村図書館での図書の貸出・返却は行っていないが、当センターへ来館できない利用者の方については、宅配サービスによる貸出及び返却を行っている。(貸出の運賃は利用者負担、返却の運賃はセンター負担)</p>	<p>日野総合事務所から返却できるよう具体的な方法を検討中。なお、宅配サービスを利用すれば自宅からでも返却できる。</p>

## 2 鍵掛峠トイレ改修整備事業について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>鍵掛峠のトイレが2年前から閉鎖になっており、トイレの必要な方は大山寺またはエバーランドを利用してくださいます。今トイレの改修をしているが、これは前から要望があって、このたび着工になるようになったということか。</p>	<p>昭和51年に設置された汲み取り式トイレで、近年、利用者から臭いや衛生面について苦情が出されていた。また、管理を委託している江府町から、近隣のエバーランドに水洗トイレがあるため鍵掛峠トイレを撤去するよう要望書が出されたことを受け、一旦は撤去する方針とし、平成15年10月に利用者へ閉鎖及び撤去の告知看板を設置した。</p> <p>その後、水洗トイレへの改修の声があったことや、大山随一の展望地であることなどから、再度検討を行い、平成16年9月議会で水洗トイレの改修予算が措置され、平成17年9月末に完成予定である。</p>	

## 3 日野郡米の販売促進について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日野郡米が新潟の魚沼産コシヒカリに負けないくらいのお米だということを県の東京や大阪事務所を通じて、もう少し全国的にPRしていただけたらいいのではないかと思います。お米は多分農協を通じて販売されたりすることが多いと思うが、農協と上手に連携していただけたらと思う。</p>	<p>日野郡内では平成15年度から日野総合事務所農林局が事務局となって「とってもおいしい日野川源流米コンテスト」を実施し、食べ比べ等により日野郡で生産された米のおいしさを情報発信している。</p> <p>JA鳥取西部では県内米卸と連携し「奥日野コシヒカリ」を販売。</p> <p>県大阪事務所主催の「鳥取丸ごとお楽しみ祭!(豊中市新千里(H17.6月))」に日野特別栽培米研究会の生産者も参加し試食宣伝を行うなど県外向けの消費宣伝を行っている。</p>	<p>生産者(JA)等が主体的に行う販路開拓、消費宣伝活動を引き続き支援する。</p> <p>関西地区での販路拡大、消費宣伝の取組み事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA鳥取西部、(株)鳥取県食が千里大丸プラザ鳥取県フェア(主催:鳥取県、10月開催)での生産者等による試食宣伝を計画。</li> <li>・大阪の飲食店(くいだおれ)で行う鳥取県フェア(9月1~30日)への日野米の提供。</li> </ul>

## 4 交通安全に係る道路舗装について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日野保育所の上手はいまだに危険であり、そこを多里の鍵掛峠のような(減速)舗装にしてください。</p>	<p>旧日野保育所付近は交通事故の多発する区域であって、危険であると地元から要望があり、以前、地元、町、警察、日野県土整備局が現地で改善について協議したところである。改善計画については、今後町と地元で案をまとめる方針である。</p>	<p>町から改善計画が提案されれば、県として出来る範囲で対応したい。ただし、減速舗装については、現場のカーブが緩やかであるため、他の適切な方法を検討したい。</p>

### 5 図書館教育の充実について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>学校図書室に図書司書を置くという事で、何年か前に各学校に1名配置されていたと思う。それがだんだん減ってきて、図書室がまた昔の図書室になってきている。そういう状況と「鳥取県の学校教育における基本目標」の中で「図書館教育の充実」というところとに納得できない部分がある。今後はどうなるのか。</p>	<p>県立高等学校の学校図書館司書は県が全校に配置しているが、公立の小・中学校の学校図書館司書の配置は各市町村が行うことになっている。県としては、H15～16年に学校図書館司書の正職員化を促進するための事業を行ったり、各市町村に対して学校図書館司書を配置してもらおうよう働きかけをしている。</p>	<p>小中学校の学校図書館司書の配置は各市町村が行うことになっている。県としても、図書館教育の充実に向けて、司書教諭の養成、研修の充実などに努力するとともに、学校図書館司書の配置について引き続き各市町村に働きかける。</p> <p>なお、県教育委員会では平成17年度からモデル的に専任司書教諭を小学校2校に配置して、学校図書館を活用した授業での有効な学習支援のあり方などの研究を進め、その効果を検証している。</p>

### 6 日野高校の音楽コースについて

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日野高校は音楽コースという特色ある学科を持っている。それを導入したときの歓迎ぶり、期待度は大変なものだと思う。それがだいたいトーンが下がってきたという感じも否めない面があるのかなと思う。せっかく特色がある学科を設置してあるが、何か再検討の余地があるのか。</p>	<p>平成7年4月に、根雨高校に音楽教養コースを設置した。(定員40名)</p> <p>その後、高等学校教育改革により、根雨高校は日野産業高校とともに平成12年4月に総合学科の日野高校として再編成された。同コースは「音楽系列」となり、今年度、「音楽系列」を選択している生徒は、3年生9名、2年生14名(系列の科目を選択できるのは2年生以降)である。</p>	<p>平成18年度以降の県立高校の在り方については、現在検討を行っているところであるが、日野高校についても、西部地区に総合学科が3校あること、各系列の学習をより専門的な内容も取り組めるようにしてほしいという意見があることなども踏まえ、学校や地域の方々の意見をお聞きしながら、総合的に検討していくこととしている。</p>

### 7 少人数学級について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日南町の現状で、少人数(1人や2人)の学級のごとで、町ともいろいろ検討しているところである。いろいろ大丈夫と言われるが、実際にそれに関わっておられる方はすごく不安を抱えておられる。絶対的に多人数でないと経験できないことがある。ぜひ県の教育委員会でもう一度検討していただいて、教育の平等があるならば何とかある程度の施策を出していただいて、応援していただかなくってはならないと思っている。</p>	<p>鳥取県では、義務教育の入門期である小学校1年生の時期を重要視するとともに複式学級の指導の困難性を解消するために、平成12年度より1年生を含む複式学級と飛び複式学級を解消している。</p> <p>その結果、1人や2人の極めて少ない人数の学級が生じた場合、教科によって他の学年と合同で授業を行うなどして集団としての学習の場も工夫するように働きかけているところである。</p>	<p>少人数の学級の在り方等については、引き続き関係者の方々のご意見をうかがいながら、どのような方法が望ましいのか検討していきたいと考えている。</p> <p>なお、学校統合による少人数の学級の解消については、学校の設置者である市町村の所管事項であるため市町村においてよく検討して頂きたいと考えている。県教育委員会としては、今後とも学校の状況に応じた必要な教員の配置に努めたいと考えている。</p>

### 8 スクールカウンセラーについて

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>スクールカウンセラーが現場に行くのはいいけれども、学校の校長先生をされた方がカウンセラーとして派遣されるという問題がある。カウンセラーと学校の先生では、全然意味が違うと思う。安易に校長先生をされた方をカウンセラーとして派遣していただくことには絶対反対である。</p>	<p>スクールカウンセラーについては、臨床心理士の資格を有する方などが望ましいと考えているが、本県は有資格者の絶対数が不足しており、スクールカウンセラーに占める割合は約6割程度となっている。あとの4割の方は、県臨床心理士会からの情報なども参考に選考しており、病院心理職、元児童相談所所長、元看護師などの方をお願いしている。なお、今年度の校長経験者は1名であるが、教職在職時に教育相談の担当経験がある方である。</p>	<p>来年度以降も、臨床心理士の資格を有している方や適切な方にスクールカウンセラーを依頼したい。また、引き続き島根大学と協議を行い、大学院卒業者で臨床心理士資格取得者(取得予定者)に対して鳥取県内への勤務を働きかけてもらう。</p>